

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和2年度第2回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和2年8月20日（木） 15：10～16：00

会 場 北九州市庁舎5階 特別会議室A

※ 第1回及び第2回を同日開催した（第1回の開催は5月に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染対策により延期されていたため、第2回の開催日に行うこととなった）。

令和2年度第2回北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和2年度第2回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 令和2年8月20日(木) 15:10～16:00

会場 北九州市庁舎5F 特別会議室A

3 出席委員(五十音順)

酒井 孝子、田籠 亮博、田村 慶子、松田 亨

4 議事

(1) 令和2年度第1四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(2) 令和2年度第1四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和2年度第1四半期に契約をした工事の中から、松田委員が10件(契約課契約分8件、上下水道局分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による土木工事で、辞退等が半数となっている、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 15者のうち7者が辞退している。総合評価なので、価格だけではなく、技術提案資料等の提出もしていただく。その負担が大きいので、それだけで辞退することもある。今回の辞退理由は、採算が合わない、技術者が不足しているというのが主な理由だった。今回は技術評価点が高い業者が落札した。

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、落札金額が4番目に高かった業者が落札しているため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 前の案件と同様、総合評価のため、落札金額が4番目に高かったが、技術評価点が高い業者が落札した。

(問) 一般競争による土木工事で、参加業者数が多いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 参加業者が多いのは、一般的な道路工事なので難易度もそれほど高くなく、年度の始めなので業者もまだ仕事が多忙ではない時期だったから入札参加者が多かったと思われる。

(問) 一般競争入札による土木工事だが、予定価格が約2億円の大規模な工事業者数が多いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 2億円以上の大規模な土木工事は、単体企業ではなく、共同企業体方式の施工対象工事としている。技術的、資金的リスクを回避するための制度である。共同企業体でありながら25の共同企業体が参加している。この工事難易度は高くないため、入札参加者が多かったと考える。

(問) 一般競争入札による電気工事で、業者数が13社で落札率が79.97%と低いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 工事の内容は、小倉駅前のペデストリアンデッキの照明器具の取付であり、工場製作費の割合が高いため、最低制限価格を設定していない。各業者は価格を下げて参加してくる。その結果が低い落札率となった。企業努力の結果である。

(問) 指名競争入札による土工工事で、落札率が97.08%と高いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 11者指名して、2者のみ応札した。1者は最低制限価格を下回ったので、もう1社が落札した。2者のみのため、落札率が高くなった。災害復旧の工事は原状復旧を基本としており、利益率が低い可能性があり、応札が少ない傾向がある。

(問) 指名競争入札による土工工事で、業者数が64と多いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 64者指名したのは、年度末で不調になる可能性があるため、多くしたものである。指名業者が多かったので7者が応札し、落札された。年度末は入札不調防止のため、業者選定を工夫している。

(問) 随意契約による電気工事で、1者の随意契約となった経緯を知りたい。

(答) 特殊な設備のため、予定価格を作成する際、複数業者に見積もりを依頼したが、見積もりを提出した業者が1者のみとなったため、その業者と随意契約した。

(問) 指名競争入札による機械器具工事で、落札率が97.59%と高くなっているため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 15者指名したうち、2者のみ応札となった。1者は予定価格から少し下回る金額で、もう1社は予定価格であったため、落札率が高くなった。辞退した理由は、採算が取れないというものだった。資材搬入前に屋外で分解し、搬入後に屋内で組み立てる手間がかかるため、高くなるという理由だった。

(問) 随意契約による水道施設工事で、1者の随意契約となった経緯を知りたい。

(答) 道路改良工事をしている同じ道路内の水道管の布設工事のため、別の業者に依頼するよりも、道路改良工事を落札した業者に発注したほうが、円滑に施工でき、工期も短縮でき、経費節減もはかれるため、同一業者に発注した

ものである。

※ 第3回の委員会は、令和2年11月19日(木)14:00から開催予定。